



四小だより

臨時号 平成26年9月16日(火)
国立市立国立第四小学校
校長 藏重佳治

今後ともご理解・ご協力を

校長 藏重 佳治

2学期が始まり、2週間が経ちました。子供たちは、夏休みの生活から、学校の「規則正しい生活」に修正を加えながら、しっかりと頑張っています。始業式の日、「まずは1年生から、授業の様子を見に行きますよ」と伝えましたが、1組も2組も、背筋を「ピン!」と伸ばして、先生の方を向きながら、授業を受けている子が多く見られたことは、とても嬉しく思います。「実りの秋」子供たちの学校生活も、多くの実りが感じられるよう、教職員一同、取り組んで参りますのでご協力ください。

さて突然ではありますが、このたび本校副校長 外所弘章が、本日付(9月16日)で八王子市立下柚木小学校校長として昇任することになりました。本校に4年間副校長として勤務して参りましたが、その間にご協力いただいた保護者・地域の皆様にご挨拶を伝えることなく離任したことは、本人にとっても辛いことではありましたが、何分にも人事上のことでもありますので、これまでの皆様への感謝の意を、「学校だより 臨時号」として、書面にてお伝えさせていただきます。児童との「離任式」は、改めて日程を組ませていただきます。

また後任には、多摩市立北諏訪小学校より向井美紀主幹が副校長として着任いたしました。今後とも、外所同様、ご支援・ご協力の程、宜しくお願いたします。

離任にあたって

副校長 外所 弘章

四小に勤めて、3年半。離任という言葉に促されて、ふと思い起こされる四季それぞれの姿。

春—ハナミズキが北大通りを彩る頃。学校生活に少し慣れた1年生が、お兄さんお姉さんに連れられて登校してきます。交差点には、交通安全を願う方々の優しい笑み。「おはよう、元気?」、「はい、行ってきます」。こんな朝の光景が、爽やかでした。

夏—夕暮れ。明々と照らすキャンプファイヤーのもとで、歌い、踊った「学校に泊まろう」。保護者や地域の皆様、そして、四小の先輩たちにも支えられての1泊2日は、実り多き行事です。

秋—友達の表現力、演技力の素晴らしさに目を見張った展覧会、学芸会。友達と共に創り上げた作品の数々。体育館の中は、一人ひとりの個性があふれていました。

そして、冬—学年末、卒業を前に、友達、家族、先生や主事さんと過ごした日々を振り返る横顔。今までの歩みを振り返る原稿用紙には、溢れんばかりの思いが綴られていました。

創立57周年という長い歴史と伝統の中で、わずかな時間をともにさせていただきました。屈託のない子供たちの笑み、そして、保護者、地域の皆様のあたたかな眼差しは忘れがたいものです。今まで協力してくれた職員にも感謝しつつ、これからの四小の豊かな歩みをそっと見つめていこうと思います。

着任 あいさつ

副校長 向井 美紀

多摩市立北諏訪小学校から、副校長として本日着任いたしました向井美紀と申します。国立第四小学校の子ども達との新たな出会いをととても楽しみにして参りました。学生時代を過ごした緑豊かな国立の街に来ることができて、とてもうれしく思います。

私が教師になった理由は、子ども達と共に笑い、共に遊び、共に学ぶことが好きだからです。子ども達の笑顔は、私にとって大切な宝物です。

今度は副校長として、子供たち全員の成長を支えていけるように、教職員、保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせて、がんばっていきたくと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。

